



西脇市  
シティプロモーション  
戦略プラン

NIHONNO  
HESONOÓ

「日本のへそ」から「日本のへその緒」へ

平成29年2月

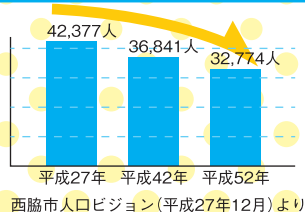
西脇市

市民の皆さんと一緒に  
これからの西脇市を

# もっともっと 「選ばれるまち」に!

## 本市の現状

全国的な人口減少傾向と東京一極集中を背景に、  
本市の人口推移も厳しい局面を迎えようとしています。  
さらに、地域ブランド調査2015によれば、  
本市に関する認知度も低い傾向にあります。



## 多様な地域資源

### 「日本のへそ」

“日本の中心”という  
他市にはない地理的特性



### 「ハグクム土壌」

豊かな自然環境や歴史的・文化的背景を有する  
土地柄、多様な魅力・個性を育む土壌



本市の多様な魅力や地域資源を市内外に効果的に発信し、良好な都市イメージを定着させることで、  
「このまちで住みたい、暮らしたい」と思われるような「選ばれるまち」を目指します。

## 西脇市シティプロモーションの基本方針

本市ならではの地域資源を「育んできた力」に誇りを持ち、  
効果的なPR戦略によって浸透させていく!

## 西脇プライド<sup>\*</sup>の醸成

<sup>\*</sup>本市の一員としてまちに関わる喜びや誇り(シビックプライド)

相手に“響く”  
効果的な情報発信

ハジケル

共感性の高い  
資産を再発見

ハグクム

ターゲットは、関与意欲の高い層から周辺へ次第に拡大していきます。

新しい西脇市を彩っていくコンセプトと旗印

# 「日本のへそ」から「日本のへその緒」へ

ロゴマーク



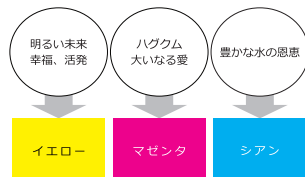
ロゴマークに込めた想い

中心の星は「へそ」を象徴するとともに、個性ある人材などを「スター」に見立てました。円外へ突き出たイエローのラインは育まれたスターが羽ばたいていくための「へその緒」であり、切っても切れない本市との「絆」でもあります。このロゴマークは、市民の皆さんが自由に活用することができます。

新しい西脇市に導く「西脇カラー」の設定

個性豊かな3色を本市のカラーとして設定し、「西脇YMC（ニシワキワイエムシー）」と呼称します。西脇YMCを導入することで、本市に関わる人々の感性を刺激します。

西脇YMC (ニシワキワイエムシー)



コンセプト(統一的な方向性)

## 日本のへその緒

コンセプトステートメント(宣言)

東経135度、北緯35度。

西脇市が日本のへそに位置していることを、私たちはどれだけ意識し、暮らしてきたでしょうか。

このまちには地理上の定義を超え、多くの産業や才能が生まれては、生まれ、巣立ってきた歴史があります。

それはまるで、子を産み、育て、巣立たせる親の営みのような歴史、ともいえるでしょう。

経度と緯度という2つの軸に加えた、親の愛のようにあたたかい3つめの軸。

この軸を、「へその緒」と名付けてみました。

その力を感じられるまちになっていくことで、これまでの歴史を必然として感謝し、未来へと歩んでいくのです。

へその緒は生まれてすぐに切れるものですが、育み育まれることで、親子のつながりは一層深まっていきます。

このまちで生まれた人が、巣立っても必ず帰ってくるような、離れていてもつながりを感じ続けられるような。

あるいは、「へその緒」に魅せられた人が新たに暮らせるような、あたたかい眼差しで新たに迎えられるような。

そんなまちになっていくではありませんか。

## 平成28年度の具体的アクション

### 1 ロゴマークステッカーの配布

本市への関与意欲の高い市民等を対象として、シティプロモーションのコンセプトを象徴するロゴマークをステッカーとして配布。市民が主体的に関わることで、今後のプロモーション施策の加速を図ります。



### 2 統一ラベル実証実験

モノを通じて取組を広げようと、さまざまな商品にロゴマークをタグとして添付。西脇商工会議所と連携し、シティプロモーションをキーワードにしたフェアを実施(平成29年2月14日～3月12日)。



### 3 ふるさと寄附ボックス

ふるさと納税制度に着目し、お礼の品をお贈りする専用ボックスをデザイン。寄付者を本市への関与意欲のある層として、コミュニケーションに活用します。



### 4 ショートムービーの配信

コンセプトを浸透させるためのショートムービー(約5分間)を制作。多くの市民を巻き込みながら、本市の魅力丁寧に撮影しました。また、BGMとして、コンセプトを浸透させるためのオリジナルソング「ヘソノオノウタ」も制作。作詞は本市出身のクリエイターが、作曲・歌唱は本市出身のシンガーソングライターがそれぞれ手掛けました。本ムービーは、市ホームページやSNS、動画配信サイトなどで順次公開するほか、各種イベント会場や神戸市三宮エリアの大型ビジョン等でも配信します。

